

神奈川県立松陽高等学校 令和7年度 第2回 学校運営協議会議事録

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和7年度第2回学校運営協議会
開催日時	令和7年11月25日（火） 14時50分～16時50分
開催場所	本校会議室
（役職名）出席者	<p><学校運営協議会委員></p> <p>（会長） 見目 りえ 本校PTA会長 （副会長） 中山 懐利 和泉北部連合自治会長 有元 典文 横浜国立大学教育学部教授 谷澤 直人 横浜市立いずみ野中学校長（第2回ご欠席） 齋藤 敦子 横浜市立いずみ野小学校長（第2回ご欠席） 笠原 昭彦 本校同窓会会長 石神 貴子 本校校長</p> <p><事務局></p> <p>森本雄二（副校長）、小笹雄二（教頭）、佐藤 昇（事務長）、 岡野 晃（総括教諭）、田嶋美和（総括教諭）、松村慶一（総括教諭）、 虻川純平（総括教諭）、石澤和也（総括教諭）、板谷修平（教諭・記録）</p>
次回開催予定日	令和8年3月予定
問合せ先	副校長 森本 電話 (045)803-3036 FAX (045)802-9935
審議(会議)経過	<p>学校運営協議会に先立ち管理職の案内で各委員が14時50分より6校時の授業(14時35分～15時25分)を参観した。</p> <p>第2回学校運営協議会（15時35分～16時50分）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会長挨拶 2 校長挨拶 3 令和7年度学校目標に対する各グループの取組状況（中間報告） 各グループ・リーダーより説明 4 質疑応答 <p>○開発推進グループ・リーダーより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習評価研究についての報告があった。 ・資質や能力を伸ばす評価、目標提示とフィードバックをテーマにして取り組んだ。 ・教科書を読むだけではなく、内容を深く掘り下げてどのように落とし込むかが大切。 ・課題として次年度以降どのように進めていくのかを検討に入らないといけない。 ・全教員の熱量を同じにすることが必要である。

- ・学校説明会用に Instagram 等 SNS も活用して学校紹介動画を作成した。
- ・学校紹介動画は次年度以降の各種説明会や学校 HP へ掲載し、PR に努めていきたい。

○活動推進グループ・リーダーより

- ・ランチミーティングを数回行い、生徒の生の声を拾った。
- ・学校行事に関しての生徒へのアンケートを実施した。
- ・部活動への加入率は 83%（内訳 男子 81.9%、女子 83.9%）
- ・夏休みに部活動体験会を行った。熱中症への危険が危惧された。
- ・緑の羽根募金を実施。さらにボランティアの幅を広げていきたい。

○生活推進グループ・リーダーより

- ・教育相談が増えてきている。月曜日に SSW、火曜日に SC が来校しているが、毎週ほぼ予約枠が埋まっている。
- ・放課後の振り返りをして、書面化し共有している。
- ・サポートドックによるプッシュ型面談を全生徒に行っている。
- ・交通事故防止標語やポスターを 1 学年が作成し、5 名が優秀賞や佳作をとっている。

○学習推進グループ・リーダーより

- ・教育課程を見直して 1 年目として丁寧な指導ができた。
- ・次年度は現 1 年生（54 期生）2 年時より理科（物理・化学）・社会（日本史探究・世界史探究）の選択、いわゆる理系・文系の選択が導入。

○進路推進グループ・リーダーより

- ・共通テストのウェブ出願に向けた準備を夏休みの面談から行い、253 名の出願が行えた。
- ・模擬面談を計画的に行った。
- ・模試の振り返りを授業の中でも落とし込んで進められている。
- ・84 名が進路資料室の赤本利用。
- ・引き続き担任による面談を実施
- ・11 月の模試を自宅受験で 9 名が利用した。
- ・教員の研修はなかなか時間が取りづらい。

○管理渉外グループ・リーダーより

- ・校内設備の老朽化へ対応した。
- ・5 月に防災訓練、8 月に DIG(災害図上訓練)を 1、2 年生で実施した。
- ・サツマイモの収穫に成功した。3 年生が地域貢献デーを利用して災害時炊飯訓練を実施する。

各委員より

○横浜国立大教授 委員より

- ・SC と SSW のプッシュ型面談の人数や面談のなどの詳細についてのご質問があり、内容については個人情報に関わりお答えできないが、人数は第 2 回目の面談は少し減った。

○PTA会長 委員より

- ・プッシュ型面談を受ける生徒さんは、戸惑いもあるかもしれないが、気にかけていただいていることに気づけて良いと思う。前向きな面談であった。

○和泉北部連合自治会長 委員より

- ・防災訓練は県からの指示だが、実際の防災については横浜市が拠点となって運営するのでは。防災拠点との連携やコミュニケーションをとった方が効果的ではないか。実際に災害があった場合は地域の防災拠点が中心となって動くと思う。
- ・授業参観で和気藹々と良い雰囲気で行われていた。

○同窓会長 委員より

- ・新しい教育課程が始まって、最終的な理想やゴールは決まっているのか。(開発推進グループ・リーダー)

➡松陽高校が目指すべき進路実現に向けた授業改善を行うことが必要だと思う。

- ・模試の振り返りが授業改善につながっているのか。生徒による授業評価アンケートの結果も授業改善につながっているのか。

(学習推進グループ・リーダー)

➡模試の解き直しを授業に組み込んでもらいたいのが全教科に浸透しきれていないのが現場で課題。

(開発推進グループ・リーダー)

➡授業評価のアンケートを元に改善に努めてほしいとお願いしているが、データを見ていない人もいると思う。生徒からのコメントは参考にしてている人は多い。

- ・模試や学習評価の結果を教員が振り返りに時間をとって行わないといけないと感じる。

- ・体育祭実行委員のアンケートから読み取るに、満足できていない15%はどうか。

(活動推進グループ・リーダー)

➡自分より他の人の活躍が良かったことや、部活動との両立が難しかったためそのような回答になっているのではないか。

- ・プッシュ型面談のアラート数はふえているのか。

(生活推進グループ・リーダー)

➡第1回の結果に比べて第2回は面談数が減っている。

- ・学年によっての特徴があるかもしれない。
- ・授業見学をさせてもらったが、女子生徒のスカート下の長ズボンはどうなのか。近隣からも言われている。

➡教職員の中でも様々な意見があり、現状校内はOKにしているが校外は

	<p>禁止している。徹底できていない。マナーアップ週間も実施している。スラックスを販売しているが金銭面での課題もある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女子生徒のスラックスを推奨していけば良いのでは。 ・共通テスト 253 名の受験者は学校として受験をさせているのか。(進路推進グループ・リーダー) <p>➡強制にはしていない。</p> <p>○PTA会長 委員より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を見学して、英語や国語の授業、特に羅生門の授業は良かった。 ・我が子も松陽高校で自分の考えを話せるようになった。 ・学校としての取組がテストの点につながればよい。 ・地頭の良い子がどれだけ来るのか、どこまで伸ばせるのか。 ・先生たちが若返った気がする。 <p>○欠席 各 委員より (いずみ野中学校長 委員より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いずみ野中学校との部活動交流と、書道部による国語科書写の授業の指導補助については、他に誇れる顕著な取組だと思う。 <p>(いずみ野小学校長 委員より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度もドングリを提供いただき感謝している。 ・「生活科・総合的な学習の時間」において、地域の材を生かした取組を重点研究としており、松陽高校との交流を引き続き大切にしていきたい。 <p>5 その他</p> <p>○副校長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回は3月を予定している。 ・卒業式の日程を考慮し早めに調整する。
会 議 資 料	<div> <ul style="list-style-type: none"> ・「次第」 ・「学校評価報告書（中間報告）」 ・「生徒による授業評価アンケート集計結果」 ・「防災教育災害図上訓練(DIG)実施要項」「災害図上訓練(DIG)を始めよう！」 ・「令和7年度地域貢献活動実施計画書」「災害時炊飯訓練について」 ・「部活動加入率」「運動部、文化部加入者数」「令和7年度 体育祭クラスリーダー向けアンケート」 ・「交通安全通信 第1号」 </div> <p>別冊資料 「令和7年度 公開研究授業資料」</p>